



第22回水道施設に関する規格専門委員会（7月9日、10日）

7月9日の委員会は、クボタシーアイ(株)堺工場にて水道配水用ポリエチレン管・継手（JWWA K 144・145）の製造工程及び各種試験の立会を行った。

7月10日の委員会は、日本水道協会大阪支所において水道配水用ポリエチレン管・継手（JWWA K 144・145）の規格改正について、第2回目の審議を行った。

未納料金対策実務研修会（東京第1回）（7月13日～7月14日）

水道事業及び賛助会員の主に料金徴収業務に携わる方々80名の参加を得て、未納料金対策について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションに於いては、活発な情報交換が行われた。

第149回 水質試験方法等調査専門委員会（7月14日）

厚生労働省水道課竹谷基準係長から、平成21年6月に厚生労働省が開催した水質基準逐次改正検討会（公開）について、銅やカドミウムの基準の取り扱い等、議事概要の説明を受けた。その後、「上水試験方法2001」の改訂方針について再確認を行い、平成21年度内に改訂作業を完了できるよう、本格的なまとめ作業に入った。

消費税実務講座（7月16日～7月17日）

正会員及び賛助会員の事務職員の方々48名の参加を得て「国・地方公営企業の消費税」「消費税等の予算経理及び会計処理」（講師：中田ビジネスコンサルティング代表 公認会計士 中田ちず子）について研修を実施した。

第224回 衛生常設調査委員会（7月17日）

厚生労働省水道課吉口水道水質管理官から、新任の挨拶を受けるとともに、最新の水質情報として水質基準逐次改正検討会における検討概要等について説明を受けた。その後、残留塩素管理に関する調査結果の報告や、シングルレバー混合水栓からの異物の流出に関する状況説明等を行った。また、省令改正に伴う日本水道協会規格JWWA Z 109「水道用薬品の評価試験方法」の改正案について審議を行い、方向性が確認された。

第143回水道技術管理者協議会（7月21日 於：千代田区）

水道用ソフトシール仕切弁（JWWA B 120）の規格改正、「水道施設におけるエネルギー対策の実際」及び「水道施設耐震工法指針・解説2009」の発刊、標準仕様書の改訂等、「水道の安全保障に関する検討会」等の報告、計量法（省令）改正と新基準水道メータの選定などについて報告を行い、それぞれ意見交換を行った。

第94回 機械・電気・計装専門委員会（7月22、23日）

平成21・22年度の2年間での作成を予定している水道施設における広域的な設備管理のあり方に関する手引きについて、審議を行った。手引きでは運転管理システム、施設の保全・運転管理及び危機管理対策のあり方などをとりまとめる。



水道 GLP 認定証授与式

水道 GLP 認定委員会で認定が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



7月22日 浜松市上下水道部浄水課
(認定番号：JWWA-GLP050)



7月29日 沖縄県企業局水質管理事務所
(認定番号：JWWA-GLP049)

第878回会誌編集委員会（7月23日）

本誌8月号、9月号の編集方針、投稿原稿の審査、並びに本会会長表彰の候補論文について審議した。

第1回水道用ポリシリカ鉄日本水道協会規格制定委員会（7月27日）

今後、使用の増加が予想されるポリシリカ鉄について、規格制定の審議を行うこととなった。はじめに、委員長に国立医薬品食品衛生研究所の西村哲治委員、副委員長に名古屋市上下水道局の伊佐治知明委員を選出した。続いて、ポリシリカ鉄の開発の経緯、実際にポリシリカ鉄を導入している浄水場の現地調査結果や各事業体で実施した「水道施設の技術的基準を定める省令」の評価試験結果が報告された。その後、日本水道協会規格（案）について審議した。なお、本委員会は、年度内に正案を出す予定である。



新任水道事業管理者研修会（7月27日～29日）

就任間もない事業管理者及び責任者の方々64名の参加を得て、「水道事業の今日的課題」、「地方公営企業の会計方式—決算書の見方とそのポイント—」「地震等緊急時対応の手引き」「水道事業における労働法体系並びに労務管理」「地方公営企業の労使関係」「水道事業と争訟」「水道経営と料金のあり方」について、それぞれの科目に造詣の深い講師より講義が行われた。



また、研修会の最後にディスカッションが設定され、活発な情報交換が行われた。

第175回常任理事会（8月4日）

御園専務理事が議長となり、報告事項1「第78回総会シンポジウム企画について」、報告事項2「公益法人制度改革に関する定款変更専門委員会の設置について」、報告事項3「IWA-ASPIRE 会議について」、報告事項4「計量法改正に伴う新基準水道メータへの対応について」、報告事項5「図書等の発刊について」がそれぞれ事務局より報告された。



続いて議案の審議に入り、第1号議案「平成20年度日本水道協会会計決算について」、第2号議案「平成22年度日本水道協会会計予算編成について」の2件を事務局から諮り、審議の結果、原案のとおり決定した。

未納料金対策実務研修会（大阪会場）（8月6日～8月7日）

水道事業及び賛助会員の主に料金徴収業務に携わる方々99名の参加を得て、未納料金対策について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションに於いては、活発な情報交換が行われた。